



和!わっ! 輪!

<http://www.amahosp.amagasaki.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎病院

〒660-0828
兵庫県尼崎市東大物町1丁目1番1号
TEL 06-6482-1521 (代表)
FAX 06-6482-7430

“和!輪!わっ!”創刊を記念して

— 新病院長から新年のご挨拶 —

兵庫県立尼崎病院 院長 藤原 久義

明けましておめでとうございます。

私は京都大学で循環器内科学を専攻し、13年間にわたる岐阜大学第二内科・循環器内科・呼吸器内科教授を経て、名誉教授となり、平成18年11月1日より県立尼崎病院に着任したところです。

県立尼崎病院は昭和11年に開設され、昭和61年に現在地に新築移転して現在に至っております。この間、患者様、一般市民、医療関係者ら、皆様の厚い信頼に支えられて、ベット数500、医師数約120名、24診療科からなる阪神地域の総合的かつ高度・専門医療を担う基幹病院であり、同時に次の世代を担う若手医師を育てる教育研修病院として順調に発展してまいりました。

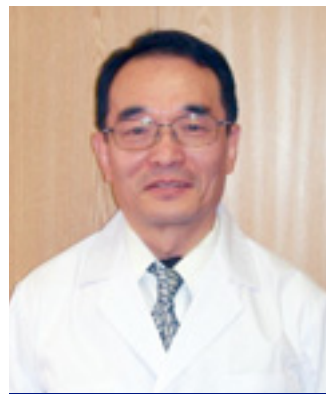
私共には、これまで以上に信頼される良質な医療を兵庫県民・尼崎市民に提供し、皆様方の健康を守ると同時にさらに増進させる責任があります。

しかし自治体病院を含めた国・公立病院は、国の医療費抑制政策、医師・看護師等の不足、医療不信や訴訟の増加等これまで経験したことのない多くの問題を抱え、医療環境は激変の時代です。私の役目はこのような厳しい状況を逆にチャンスとして捉え、県立尼崎病院の一層の改革を進め、当院を医療・サービス共に関西を代表する、21世紀型の庶民的基幹病院にすることだと思っています。そのためには新しい状況に対応した新しい発想で様々な改革を皆様方と心をつなげて行っていく必要があると思います。

私は皆様方に県立尼崎病院の現在の状況と今後何をしようとしているかをもっと知っていただき、同時に皆様方のご意見も県立尼崎病院の在り方に反映させる必要があると思います。そのために、新しい試みの1つとして皆様方と我々を繋ぐホットラインとして“和!輪!わっ!”を発信することになりました。どんなご意見でも結構ですので、上記ホームページの「患者様からのお問い合わせ」にアクセスしていただくか、お手紙をお寄せ下さい。皆様方と共に、県立尼崎病院を一層、魅力的な病院に育てていきましょう。

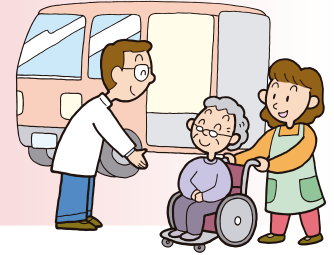
どうか本年もよろしくお願いたします。

平成19年元旦



藤原 病院長

県立尼崎病院ボランティア 稲角 千代子 様



兵庫県ここのとり賞受賞!

県立尼崎病院ボランティアグループは創立30年の実績を持ち、幅広く活躍しています。その活動が認められ、平成18年10月、稲角千代子様が兵庫県ここのとり賞を受賞されました。また、平成13年10月にはグループとして厚生労働大臣表彰も受賞しています。

ここのとり賞とは？

“こころ豊かな美しい兵庫”の実現をめざし、優れた住民活動を継続して実践している個人を表彰し、顕彰しています。



表彰式の稲角様

母の介護を弟に引継いだ昭和61年。尼崎病院が新病院に移転になった年からボランティア活動を始めました。“あっ”という間の22年間でした。

私は縫製が得意なので氷枕カバーや検査着、患児の寝衣などを手作りし、喜ばれたことが一番の思い出です。

今回の受賞は大変嬉しく、多くのかたにお祝いをさせていただきました。

今後もできる限りボランティア活動を続けていきたいと思っています。

稲角 千代子

県立尼崎病院ボランティアは現在 29 名。1 日平均 6 名の方が活動されています。

活動内容は・入院患者様の荷物運び・受付での患者様の案内や誘導・検査やリハビリ室への搬送のお手伝い・お買い物や散歩の付き添い・お話し相手・お食事とお茶配り・植木の水やり の他、縫製や洗髪・散髪といった、ボランティアさんの特技や技術を生かした活動をされています。

患者様が心の安らぎを得られる環境づくりにお手伝いいただいています。

★★ ボランティア募集中 ★★

県立尼崎病院ボランティアグループは一緒に活動していただける方（月曜から金曜日までの都合の良い時間に活動できる方）を募集しています。年齢は問いません。

詳しくは下記まで連絡をお願いします

〒660-0828

尼崎市東大物町1丁目1番1号

県立尼崎病院総務課または看護部

TEL：06-6482-1521（代表）



前列左から 大庭、中平、木邨 様
後列左から 中森、原、大東、保木本 様

当院循環器グループが、 日本心不全学会学術集会にて学会賞を受賞 ～ 血液検査にて心不全の診断とその予後を予測 ～

平成18年10月13-15日に、東京にて第10回日本心不全学会学術集会が開催され、当院循環器科 谷口良司医師（共同研究者；鷹津良樹部長、佐藤幸人医師、宮本忠司医師ら）が、40歳以下の若手医師の優秀な研究に送られるYoung Investigator's Award 賞を受賞しました。

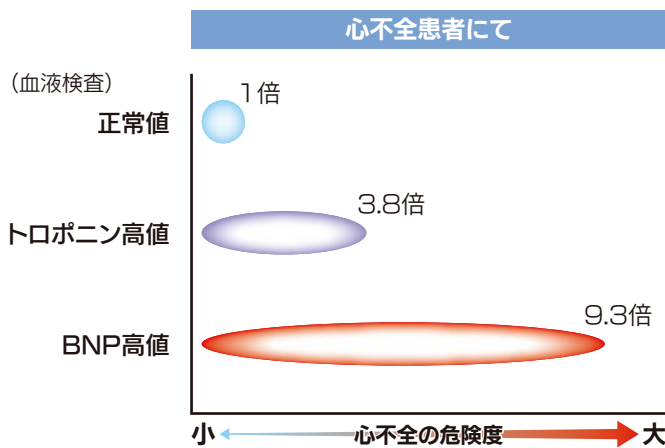
受賞テーマは、「左室駆出率の保たれている心不全患者における心筋トロポニンTとBNPの同時測定の意義について」で、心不全の診断とその予後予測に関する臨床研究発表です。

今回の研究で、心不全患者様の診療を行うにあたり、日常での血液検査の際、心筋の傷害を反映する「心筋トロポニンT」と心臓にかかる負担を反映する「BNP」の2因子を同時測定することにより、心不全の診断とその程度、および、その予後を予測できることが解りました。

更に、心臓機能の保たれている心不全患者様にとっては、保たれていない心不全患者様より、より精密な診断と予後予測因子になりうる可能性を明らかにしています。

この研究発表が高く評価される点は、大病院だけでなく、実地医家の臨床の場においても、すぐ取り入れることができる点かもしれません。

谷口医師は、「これらの研究成果をもとに、最新のCTスキャンによる診断設備を駆使し、また、心臓大血管リハビリテーションを新しく取り入れながら、狭心症や心筋梗塞など心疾患を有する患者様に対して、より安全で有益な医療を提供していきたい」と、これからの抱負を語っています。



循環器グループのカンファレンスにて
(左奥より、鷹津部長、谷口、磯田、松岡医師
右奥より、佐藤、宮本、桑原、山根医師)

糖尿病教室のご案内

当院では糖尿病教室を開催しています。はじめて糖尿病と診断された方はもちろん、今までに何回かお話を聞かれたことがある方も、もっと糖尿病のことを知って、楽しくつきあってみませんか？

どなたでも何度でもお越しください。

参加費は無料です。

場所 2階 講堂

日時

初級編 毎月第1木曜日 9:30~11:30
(平成19年1月11日・2月1日・3月1日)

病気について、薬について、食事療法について、
日常生活の留意点

応用編 毎月第3木曜日 13:00~15:00
(平成19年1月28日・2月15日・3月15日)

合併症とその予防について

持参していただくもの

診察券・筆記用具・糖尿病手帳・糖尿病のしおり
(お持ちの方)

網膜色素変性症の患者さんに新しい光が！

～ 当院秋元正行眼科医師の研究に高い評価 ～

視細胞が傷害を受け失明にもつながる網膜色素変性には有効な治療法がありませんでした。

当院眼科の秋元正行医師は、移植に適した条件を探すために、マウスを用いた動物実験に取り組んできました。

その結果、未分化な網膜幹細胞から成体の視細胞まで色々な発生段階の視細胞を移植し、視細胞前駆細胞（幼若な視細胞）がもっとも移植に適していることを発見。

その研究成果が評価され、英科学誌「Nature」に掲載されました。



眼科 秋元医師

移植ドナーの至適条件がわかったことで、今後の再生医療・網膜移植研究の目標が定まり、視力回復への臨床応用へまた一歩近づきました。

目の見えないマウスに、網膜の奥で光を感じる視細胞になる前の細胞（前駆細胞）を移植して視力を取り戻すことに、ロンドン大など日米英のグループが成功した。将来、網膜色素変性症などの治療に生かせる可能性がある。9日の英科学誌「ネイチャー」電子版で発表される。

グループの秋元正行・兵庫県立尼崎病院医師らは、視細胞やその前駆細胞が出す特別なたんぱく質を目印にして、網膜にある様々な段階の細胞

視細胞の「もと」移植し視力回復

日米英グループ マウスで成功

を取り出す技術を開発。生後間もないマウスからこれらの細胞を採取して、別のマウスの網膜へ移植した。すると、視細胞や視細胞のおもとの細胞（幹細胞）は消滅してしまつたのに、前駆細胞は網膜に定着した。

この前駆細胞を、網膜の病気で視力を失ったマウスへ移植。1か月後、瞳孔に光を当てた際の反応などを調べたところ、視力が回復していた。視細胞の反応を神経細胞に伝える組織ができていることも確認した。

(2006年11月9日 読売新聞)

編集後記

リニューアルした県立尼崎病院広報誌「和！輪！わっ！」は、如何でしたでしょうか？

暖冬とは言え、さすがに、12月の末になるとめっきり寒さを感じるこの頃です。

そんな中、せめて、少しでも暖かい医療サービスと病院情報を患者様と地域医療機関の先生方にお届けしたいと考えています。

今回の広報誌「和！輪！わっ！」の定期発行の取り組みもその一環です。

「和！輪！わっ！」を介して、患者様と地域の先生方、そして、当院スタッフとの間に、一つの大きな暖か～い医療の輪が出来れば幸いです。

「和！輪！わっ！」ネーミングの謂れは次回にでも…。

(H.S.)

「和！輪！わっ！」に対するご意見・ご感想をお待ちしております。

Mail info@amahosp.amagasaki.hyogo.jp

Tel 06-6401-5115 **Fax** 06-6482-5774

県立尼崎病院
地域医療室